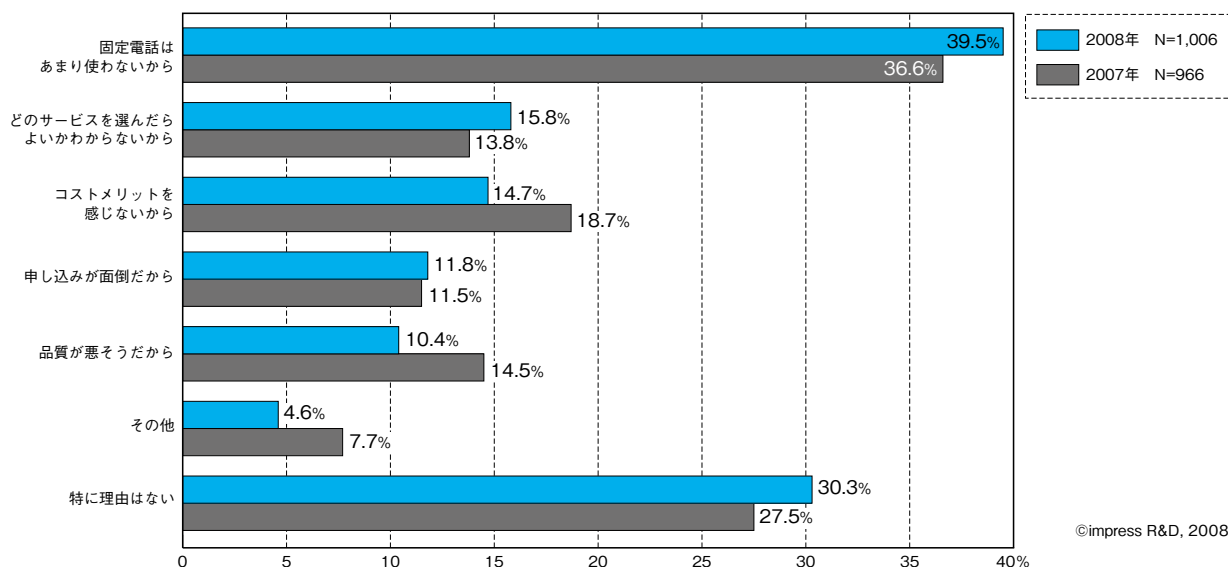


■ IP電話非利用理由は「固定電話はあまり使わないから」

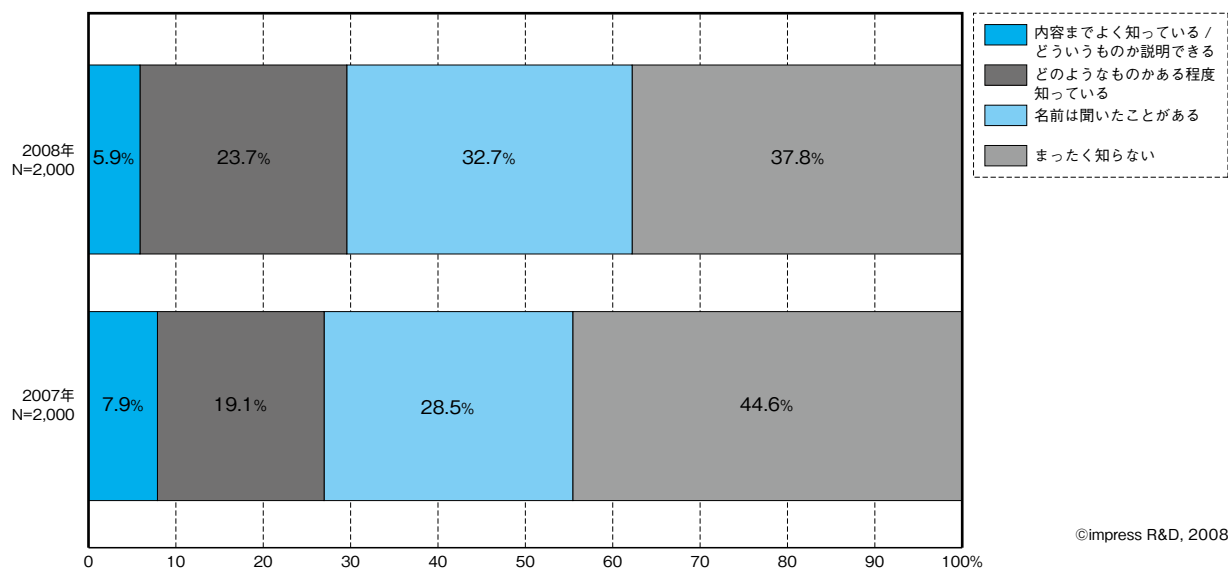
資料6-8-7 IP電話の非利用理由(複数回答) [2007年-2008年]



IP電話非利用者のうち今後も利用意向がないサンプルの非利用理由は、「固定電話はあまり使わないから」が39.5%と最も高く、以下、「どのサービスを選んだらよいかわからないから」の15.8%、「コストメリットを感じないから」の14.7%が続く。携帯電話の普及により固定電話離れが進んでいる現状がうかがえる。

■ IPTVまたはVODサービスの認知度はわずかに上昇し、6割強

資料6-8-8 IPTVまたはVODサービスの認知度 [2007年-2008年]

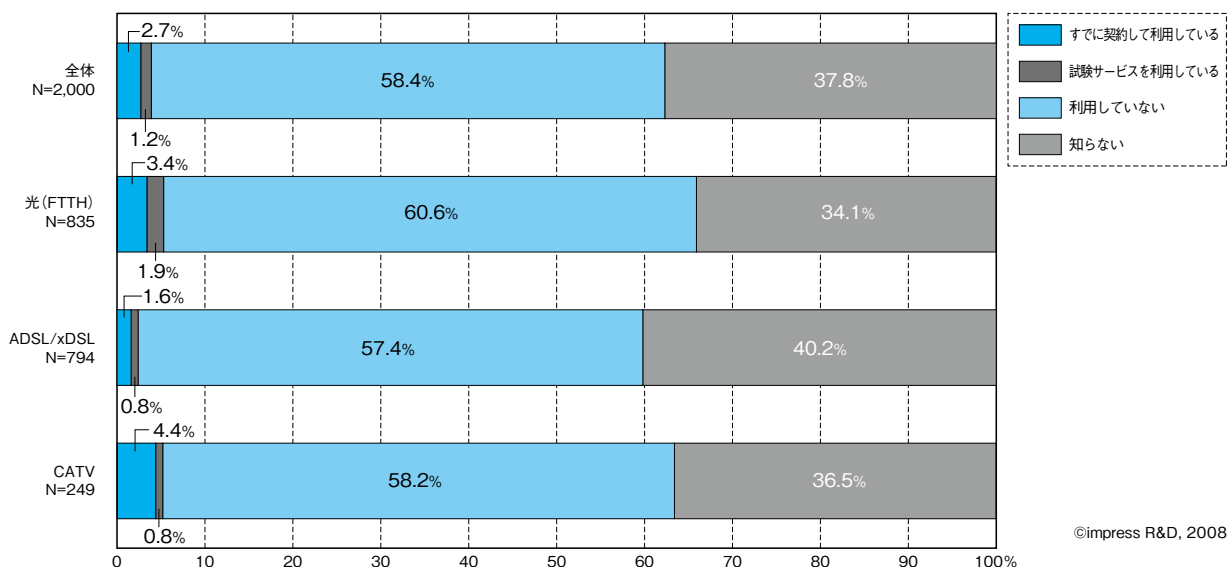


IPTVまたはVODサービス(ブロードバンド回線を利用しセットトップボックスを介しテレビで番組や映像を視聴するサービス)の認知度は、「名前を聞いたことがある」までを含め62.2%であり、昨年の55.4%から上昇している。ただし、サービスの内容をある程度まで知っているインターネットユーザーは3割にとどまっている。

IPTV

■ IPTVまたはVODサービスの利用率は3.9%

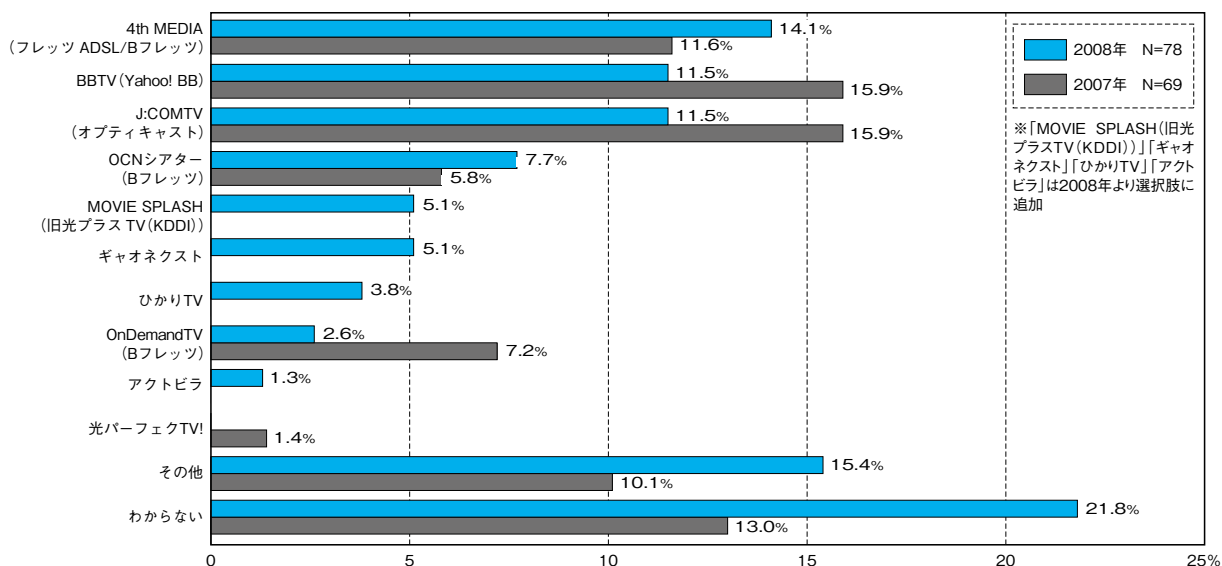
資料 6-8-9 IPTVまたはVODサービスの利用状況[接続回線別]



IPTVまたはVODサービスの利用状況を見ると、「すでに契約して利用している」と「試験サービスを利用している」を合わせた実質的な利用率は3.9%にとどまっている。回線別では、光 (FTTH) やCATVの利用率が5%を超えている。

■ IPTV/VODの利用サービスは「4th MEDIA」「BBTV」「J:COMTV」がトップ3

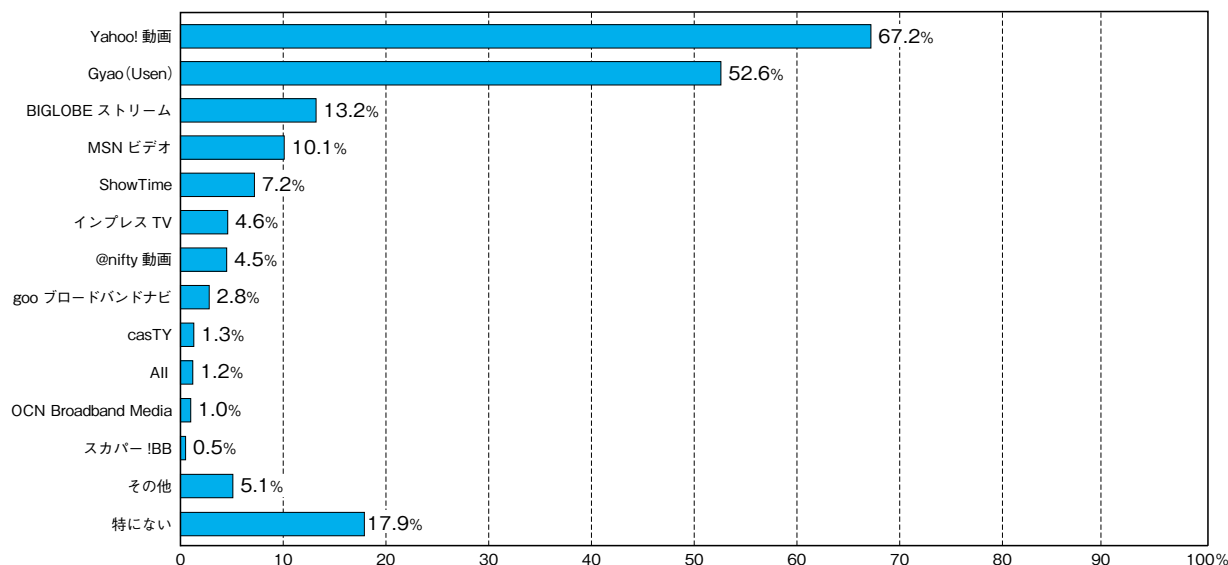
資料 6-8-10 利用しているIPTVまたはVODサービス名(複数回答) [2007年-2008年]



IPTVまたはVODサービスの利用者に対し、利用しているサービス名を聞いたものであるが、トップは「4th MEDIA」の14.1%、BBTVとJ:COMTVが11.5%、OCNシアターが7.7%で続いている。昨年調査と比較して大きな変動が見られるが、利用者数は少なく参考程度にとどめたい。

■ 人気動画はYahoo!動画とGyao

資料 6-8-11 その他のインターネット映像動画の視聴(複数回答) N=999

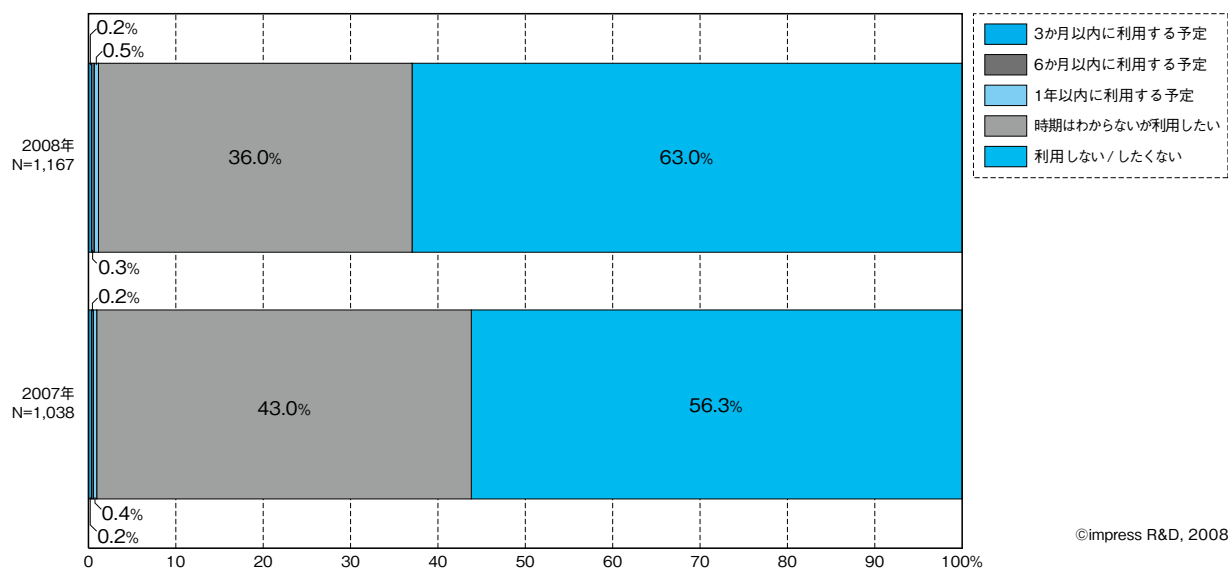


有料無料にかかわらずパソコン上で視聴可能な動画サービス利用者が利用しているサービスは、トップは「Yahoo!動画」の67.2%で、2位が「Gyao (Usen)」で52.6%である。「YouTube」や「ニコニコ動画」などの動画投稿サイトのみの利用者は「特になし」に含まれており、詳細な内容は資料 6-3-7に掲載している。

©impress R&D, 2008

■ 4割弱がIPTVまたはVODサービスの利用意向をもつ

資料 6-8-12 IPTVまたはVODサービスの利用意向[2007年-2008年]



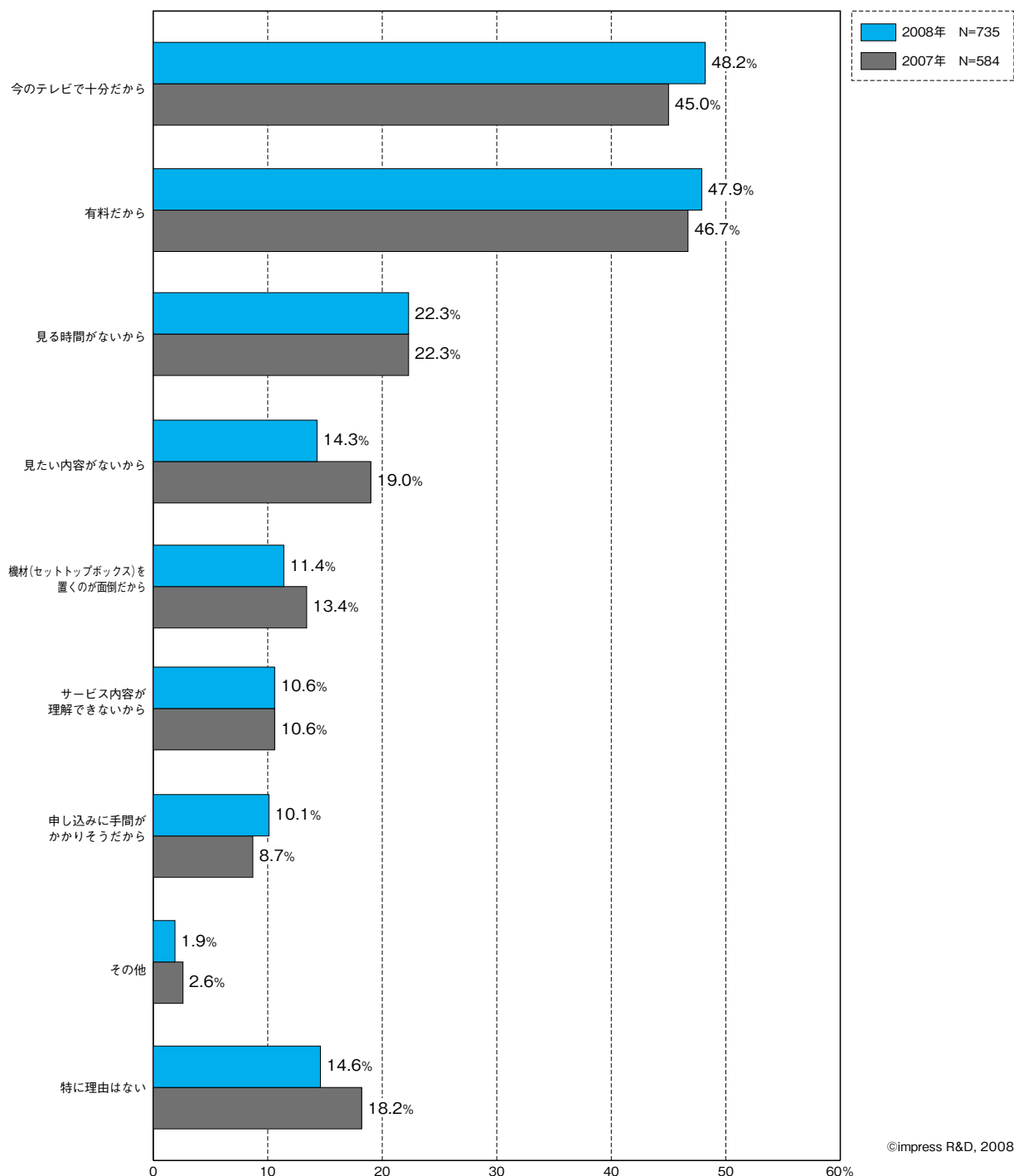
©impress R&D, 2008

IPTVまたはVODサービスの非利用者の今後の利用意向では、「時期はわからないが利用したい」が36.0%、1年以内に利用する予定の人は合計で1.0%であり、利用意向はあるものの具体的に利用を検討している人は少ないと言える。

IPTV

■ IPTV/VOD 非利用理由は「今のテレビで十分だから」「有料だから」

資料 6-8-13 IPTV または VOD サービスの非利用理由(複数回答) [2007年 - 2008年]



©impress R&D, 2008

IPTV または VOD サービスの利用意向がないサンプルの非利用理由は、「今のテレビで十分だから」が 48.2%、「有料だから」が 47.9% と突出して高い。しかし、NGN (次世代ネットワーク) を利用した地上デジタル放送の IP 再送信サービスとユニキャスト配信サービスも発表されており、今後の動向に注目したい。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp